

会派代表質問

公明党

秋葉 好美 議員



### 大網白里市の防災・減災対策で 市民の皆さまの意識向上を目指して

**問** 防災・減災対策について今回の台風15号、19号、及び10月25日の大雨について伺います。特に自然災害に欠かせないのが防災行政無線であります。そこで市民の方より、災害時、聞こえない、途切れる、反響現象など、問題点が指摘されました。市としてどのような対応をされたのか伺います。

**答** 放送内容を電話で確認できる電話応答サービス案内をさせていただきました。また、停電や暴風雨の影響により放送スピーカーに不具合があった地域においては、広報車、消防団による巡回放送を実施し、対応をいたしました。今後は、メール配信サービスでの伝達について検討してまいります。

**問** 次に、戸別受信機の貸与について現在、どのくらいの世帯の貸与があるのか、またコストは幾らかかるのか、高齢世帯や独居の方々に対して補助制度はあるのか伺います。

**答** 令和元年10月末時点で約3400台を貸与しております。貸与に際し1万円をいただき、貸与後の故障の際の交換や電波受信不良の際の外部アンテナ設置など無償で行っております。なお、高齢世帯等への戸別受信機貸与について補助制度はございません。

**問** 次に停電の対応について停電の放送において、いましばらくお待ちください。との放送が流れていたかと思いますが、もっと具体的な情報を流してほしいとの市民の方から、問合せが私のところになりました。市として、どのような対応をされたのか伺います。

**答** 本市に派遣されていた東電の連絡員を通じて、再三にわたり東電に対して

### 関連質問 上代 和利 議員



**問** 今回の災害による、被災証明書と罹災証明書の件数について

**答** 大網白里市での11月15日時点の発行件数は、被災した住家の被害程度を証明する罹災証明書は876件、住家以外の動産などが被災したことを証明する被災証明書が合計で297件。

**問** 主な被害内容は、台風15号では家屋やカーポートの破損。10月25日の大雨では床下、床上浸水、浸水による自動車の故障などが多かった。

**問** 農業などの被害額等と今後の取り組みについて伺います。

**答** 9月台風15号から10月25日の豪雨災害における大網白里市の農業被害額は、約5億3000万です。ハウス等の農業施設の修繕等に国、県市から最大9割補助される被災農業者向け支援事業を活用し支援しています。

**問** その他、自然災害に備えて、農業関連施設の農業共済等への加入や、農作物の収入減を補填する収入保険について、引き続き、周知を図るとともに、加入について推進していきます。

**問** 今回の災害について、市民の皆さまにアンケート調査などとしては何かと提案したいと思いますが、いかがでしょうか伺います。

**答** 今回の一連の災害対応については、多くの検討課題があることからまずは、自主防災組織などの防災関係団体の意見をうかがっていきます。要望として、今回、大網白里市でもたくさんの方々が被災された方がおられます。復旧もまだまだ途上です。

**問** 行政とともにしっかりと連絡を取り合い、市民の皆さまに寄り添って推進してまいります。

### 関連質問 引間真理子議員



**問** 今回改めて重要性を感した防災・減災について、小中川、金谷川の改修工事の進捗状況と今後の計画について伺います。

**答** 小中川については、JR大網駅から南白亀川合流点までの7・1キロメートルの区間はおおむね整備が完了しております。しかしながら大網駅から上流部0・9キロメートルについては未整備区間であり、台風等の大雨の際には大網駅周辺が浸水による被害が頻繁に発生していることから、国や千葉県に対し要望をしております。

**問** 市としても早期に工事着手しているように要望してまいります。金谷川の工事の進捗状況は下流から護岸工や橋梁の架け替え2橋を行い、これまでに事業区間460メートルのうち132メートルが完成したところです。今年度湾曲している旧国道の要害橋部の道路を直線化し、ガス、水道、下水道などのライフラインの復旧工事を実施する予定です。

**問** 南玉地区の被害JR外房線の脇の地すべりによる家屋倒壊、瓦れきの撤去について、住宅や生活の支援について伺います。

**答** 土砂災害を受け災害廃棄物処理事業を活用し、撤去に向けた準備を進めているところです。住家被害があった被災者に対する支援として、災害救助法や被災者生活再建支援制度などがあり、市においてはこれらの支援策について国や県と連携した中で、個々の被災状況に応じて案内をし、被災された方が一日も早く生活を再建できるようきめ細かな対応を図ってまいります。

個人質問

### 市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる豊かなまちづくりの実践！



林 正清子 議員

**問** 投票率アップ対策について伺います。前回選挙より投票率は下がってしまいました。若年層投票率アップ啓発のお考えをお聞かせください。

**答** 報道機関で3月に公表し、市HP、防災行政無線、広報紙、区長回覧新聞折込みを活用し、選挙関連情報の広報周知をしました。また、懸垂幕のぼり旗の掲示、商業施設での街頭啓発を行いました。

**問** 投票所への移動手段がない方々の対応はどのように考えていますか。

**答** 身体に重度の障がい者等には、自宅に居ながら投票ができる郵便投票制度が利用できます。また、不在者投票施設として指定されている病院や老人ホームに入院・入所されている方は、施設内で投票できる不在者投票制度が利用できます。

**問** 障がい者用投票所の設置について伺います。車イス用の記名台にパーテーションが無い場所があり、プライバシー尊重に欠けていると感じました。他の投票所も同様にパーテーションが無い場所があるのですか。

**答** 車イス用の投票記載台については、要望や実績を考慮し、現在3カ所に設置してあります。各投票所における障がいをお持ちの方への対応については、その状況に応じて関係者が誘導案内をするなどの対応に務めています。また、投票者の申し出により代筆投票可能な代理投票や、点字用投票用紙による点字投票も対応が可能です。投票の際のプライバシー確保については、投票所のスペース確保など難しい点もあるが、指摘された点も踏まえ今後の検討課題と考えます。

**問** 年代別投票率の統計について、また、年代別に合った選挙キャンペーン等は考えていますか。

**答** ペーン等は考えていますか。

**答** 投票システムを導入している第1、第4、第10の投票所の結果では、10代28.97%、20代26.82%、30代33.83%、40代43.32%、50代51.71%、60代61.89%、70代63.84%、80代48.51%でした。若い世代への選挙啓発として、大網高校の生徒を対象に、出前講座を実施しています。

**問** 県立大網白里特別支援学校を福祉避難所として活用することについて、どのように考えていますか。

**答** 災害時における福祉避難所は、優先的に開設する避難所に必要に応じて併設することとしています。今回の災害では、中央公民館講堂に介護ベッド、車椅子などを配置し福祉避難所を開設し、県立大網白里特別支援学校に要請は行いませんでした。今後、福祉避難所の協定先への要請を検討していきたいと考えます。

**問** 障がいは様々です。障がいを持った方々が避難所で過ごすには何が必要なのかの情報収集し、障がいを持った方々にも優しい避難所にして欲しいと望みます。

**問** 有事の際も非常に大きな役割を持つ防災行政無線のあり方について伺います。戸別受信機は住民全戸への普及を考えているのですか。

**答** 防災行政無線の個別受信機は、屋外での放送が聞こえないなどの難聴地域への対応として導入しているものであり、また放送内容を確認できる電話応答サービスも実施していることから、市内全戸への普及は考えていません。

※他に、◆全市での放送内容が同一なのか◆戸別受信機の負担金についての質問をしました。